

乳児ホーム るり



乳児ホームるり
施設長 大西道裕

午年の新年あけましておめでとうございます。

平素から何かと“乳児ホームるり”にご協力いただき感謝しております。

社会福祉法人心地は『和顔愛語に努め、心地よい環境を』と理念に定めております。

「和顔愛語」とは、佛教の「大無量寿経」の中の一節で、和やかな顔、やわらいだ笑顔をし親愛の情のこもったおだやかな言葉をかわす。愛情のある言葉づかいで人に接することを言います。

職員が一丸となりこのような気持ちで子ども達一人ひとりを養育しております。

この理念の基に養育目標の1つとして「大切な子ども達一人ひとりの幸せと、健やかな成長を支援し、より家庭的な養育を行います」と有り、子ども達の最善の利益を守るように努め、利用者本位のサービスを提供し地域福祉の拠点としての施設である“乳児ホームるり”の“人柄のよい子に育てよう”を基本に安全にして安心な子育てが出来る環境づくりの推進と多様なニーズに応じた取り組みが出来るよう頑張っております。

さて、午年は子どもの健康や幸福を祈る馬、悠然と歩する馬、躍進の年になることを期待する跳ね馬の置物の如く昨年までは出来なかったが、今年から出なおそう、再出発しようと考えを新たにすれば、この一年が定まり安定した素晴らしい午年になるのではないのでしょうか。

関係各位の絶大なるご協力とご支援をお願い申し上げ、皆々様にとりまして、今年こそは穏やかな年でありますように念じつつ、ご挨拶とさせていただきます。



ナースだより



今回は、最近新聞などで話題になっている「アナフィラキシーショック」についてお話しします。アナフィラキシーは主にアレルギーである薬物・食べ物・蜂の毒により、全身と複数の臓器に表れます。

〈症状〉口や手足のしびれ、蕁麻疹等で始まり、次第に皮膚や粘膜が青白くなり意識を失うといった激しい反応が表れ、場合によっては生命を脅かす危険性もあります。

もしもの時は、食物の場合、口の中に残っていればすぐに出して水ですすぎ、体に付着していればすぐに水で洗い流します。急に動かさず、仰向けに寝かせ、足を高くして楽な姿勢にします。嘔吐があれば顔を横に向け誤嚥を防ぎ、速やかに医師の診断を受けて下さい。一旦症状が治っても時間を置いて再び症状が表れることがあるので、しばらくは注意深く見守ることが大切です。



12月23日、クリスマス会がありました。

乳児ホームるりの子どもたちは、みんなで「ウィンターワンダーランド」のダンスを披露しました。手作りの真っ赤なドレスを身にまとい、可愛らしく腰をフリフリしたり、元気にジャンプをしたりと、楽しそうに踊る姿に、ついこちらまで笑顔になってしまいました。

年長児は、職員の出し物「さつまのおいも」の劇にも参加しました。さつまのおいもに扮した職員たちと綱引きをしたり、曲に合わせて落ち葉をかけたりと一生懸命な姿を見せてくれました。たくさんの人を前に、練習通り披露できるのか不安もありましたが、舞台の上で笑顔も見られ、又、去年よりもぐんと成長した姿を見る事ができ、感動も一入でした。たくさんの温かいご声援と拍手、本当にありがとうございました。



音楽に合わせてダンスダンス♪
大きな声でお名前も言えて賢かったね。



うんしょ。どこしょ。
上手に綱引きできました。



12月24日、サンタさんがやってきました。

突如として現れたサンタさんに子どもたちは驚きを隠せず、泣き出してしまう児もいましたが、しっかりとおやつを貰い、「ありがとう」と、きちんとお礼も言えました。



12月25日、目が覚めるとそこにはサンタさんからのプレゼントが！

「サンタさん来たねん！」と皆口々に言っており、寝起きとは思えないほどの興奮でした。それぞれのプレゼントを大事そうに抱える児もいれば、他児のプレゼントが気になり「あとで貸してね」と交渉に行く児など様々でしたが、嬉しそうな子どもたちの様子に思わず頬が緩みました。



乳児ホームるり 基本方針

- ・ 「人柄のよい子に育てよう」という目標のもと愛情を持って養育し、人間形成の基礎を培います。
- ・ 職員は自己研鑽に励み、チームワークを大切にし、同じ方向性を持って家庭的な養育を行います。
- ・ 地域のニーズに応じた子育て支援事業を推進します。
- ・ 常に安心・安全に気を配り、察知能力を養い、危機管理に努めます。
- ・ 保護者との連携を密にして、親の問題状況の解決や緩和を目指し、包括的な取り組みを行います。

